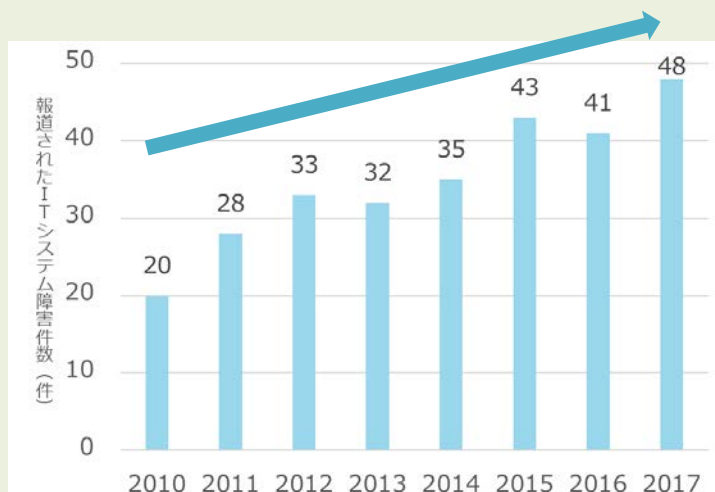


# 企業のデジタル経営改革

## レガシーシステムのリスク

- システム障害の件数は増加傾向。



出所：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）HPから作成

- 大企業を含む8割の企業にレガシーシステムが存在。

## 日本航空(JAL)における先進事例

### 【DX実施前】

- システムが複雑化し、運用の非効率化、**新技術やデータ活用も困難**に。

約800億円を投資  
(更新期間約7年)

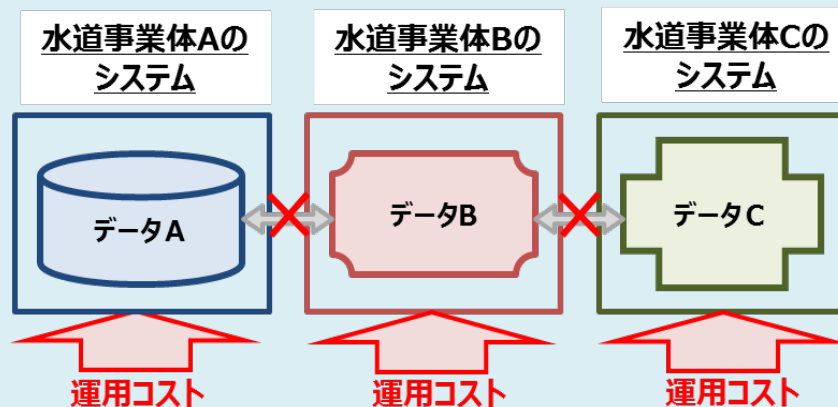
### 【DX実施後】

- 基幹系システムを**全面刷新**し、**業務効率化や新たなサービスが可能**に。
  - 予約・発券システムやチェックインシステムを利用する部門と同システムを開発するIT部門の体制を一本化
  - AIを使った需要予測の高度化等により、搭乗率や客単価が上昇

# アーキテクチャ

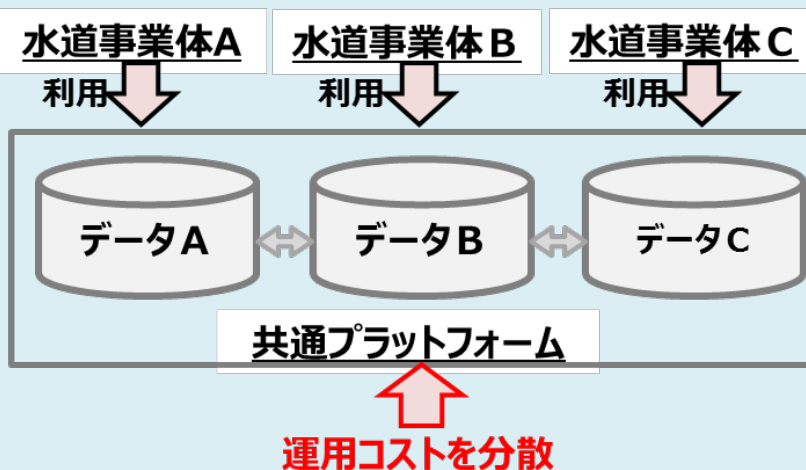
## 従来のシステム（上水道の事例）

- 上水道事業者によって**システムが異なるため、データ連携・利活用が困難**。
- システムを**個別に維持管理**するため、非効率。



## 共通プラットフォームの構築

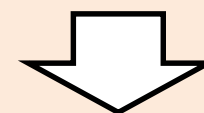
- 厚労省と連携して実証実験を実施し、2020年4月から供用開始。
- 既に複数の自治体に関心を示している。



# クラウドサービス

## 従来のシステム

- 全ての**リソースを自身で調達・管理**し、セキュリティ対策の更新を実施。



## クラウドサービス

- 政府は**クラウド・バイ・デフォルト原則**を採用
  - クラウドサービスによって、
    - 需要に合わせて**リアルタイムで保存容量等を増減**
    - 設備維持や保守管理の**費用低減**
    - 最新のセキュリティ対策**の実施
- などが可能。

